インターネット望遠鏡の紹介

表實

- 1) 慶應義塾大学インターネット望遠鏡ネットワークの紹介
- 2)インターネット望遠鏡を利用した天体観測テーマの例
- 3)インターネット望遠鏡による観測体験

天文学における天体観測の意義

天文学は、天からの文を読む学

文の種類

光・・・電磁波・ニュートリノ・重力波

文の種類の多様化と読み解く能力の向上 →天文学の飛躍的な発展

天体観測は天文学の研究・教育の両面で重要な役割を果たす



電磁波の種類と波長

プロジェクトの目的

天体観測を行う天文教育の実践とその普及

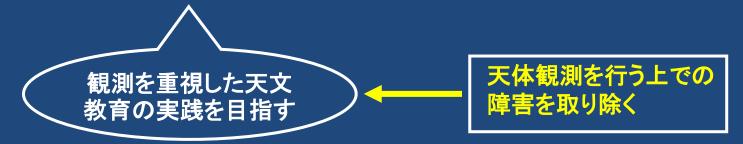
天体観測を行う上でのハードル時間的な制約・天候上の制約・望遠鏡操作の不慣れからの制約

ハードルの克服 インターネット望遠鏡ネットワークの構築

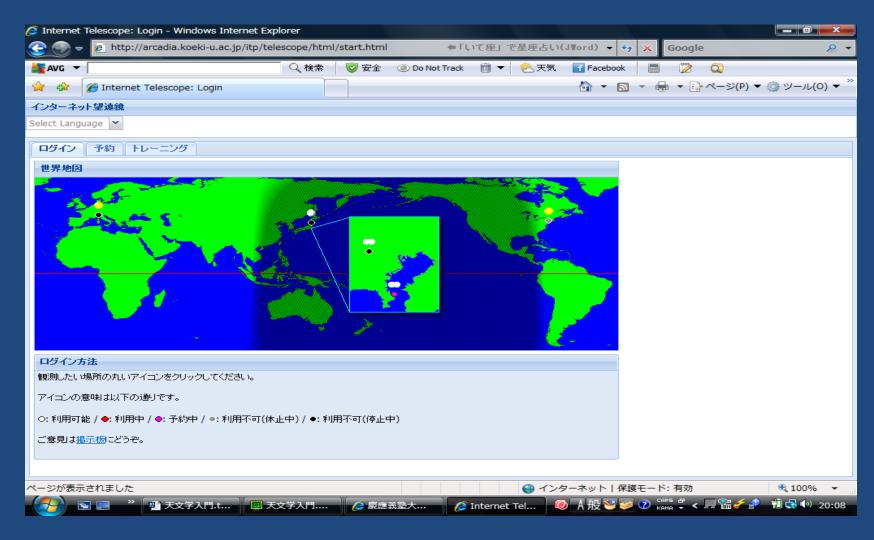
慶應義塾大学 インターネット望遠鏡プロジェクト

プロジェクトの立ち上げ:2003年1月

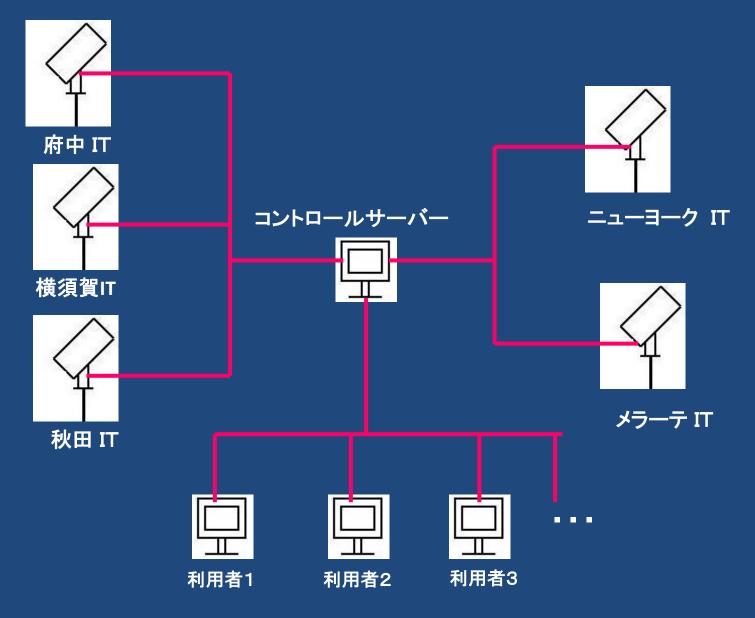
インターネット望遠鏡プロジェクトは、国内外の数ヶ所にインターネット経由で操作可能な望遠鏡を設置し、それを結ぶネットワークを無料で公開することにより、世界各地の教育現場に天体観測を実践する天文教育の普及を図ることを目的とする。「いつでも(時差を利用して24時間)・どこでも(教室・自宅から)・だれでも(望遠鏡の初心者でも)」天体観測な環境を実現する



慶應義塾大学インターネット望遠鏡ネットワークの現状



望遠鏡の設置地域:東京都府中市、神奈川県横須賀市 米国ニューヨーク市郊外、イタリアミラノ市郊外、秋田市



利用者はコントロールサーバー経由で利用したいITに接続



地球の自転による時差 个 いつでも





インターネット望遠鏡ネットワーク 个 どこでも

PC利用 个 だれでも





→ C arcadia.koeki-u.ac.jp/itp/





FrontPage

[トップ] [編集 | 凍結 | 差分 | バックアップ | 添付 | リロード] [新規 | 一覧 | 単語検索 | 最終更新 | ヘルプ]

コンテンツ

トップ

プロジェクトについて

インターネット望遠鏡

ギャラリー

マニュアル 天体に関する資料

天文基礎講座

カリキュラム

論文: 発表等

データベース

総合教育セミナー

揭示板

ソフトウェア

世界天文年2009

シンポジウム

その他

リンク

連絡先

Copyright

インターネット望遠鏡プロジェクト Internet Telescope Project *

インターネット望遠鏡プロジェクト のホームページへようこそ!

Welcome to the Internet Telescope Project!

● インターネット望遠鏡のログインベージはこちら ●

ご感想をゲスト掲示板までご自由に書き込んでください

Click here to login to the Internet Telescope.



福澤諭吉著「窮理図解」より

ニュース †



新の10件















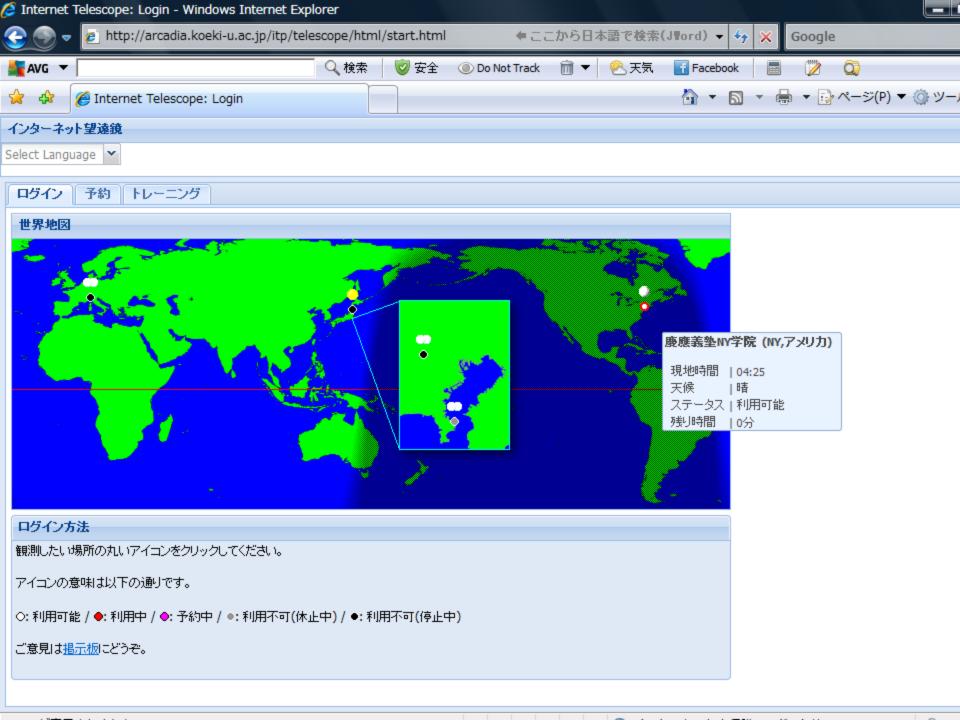




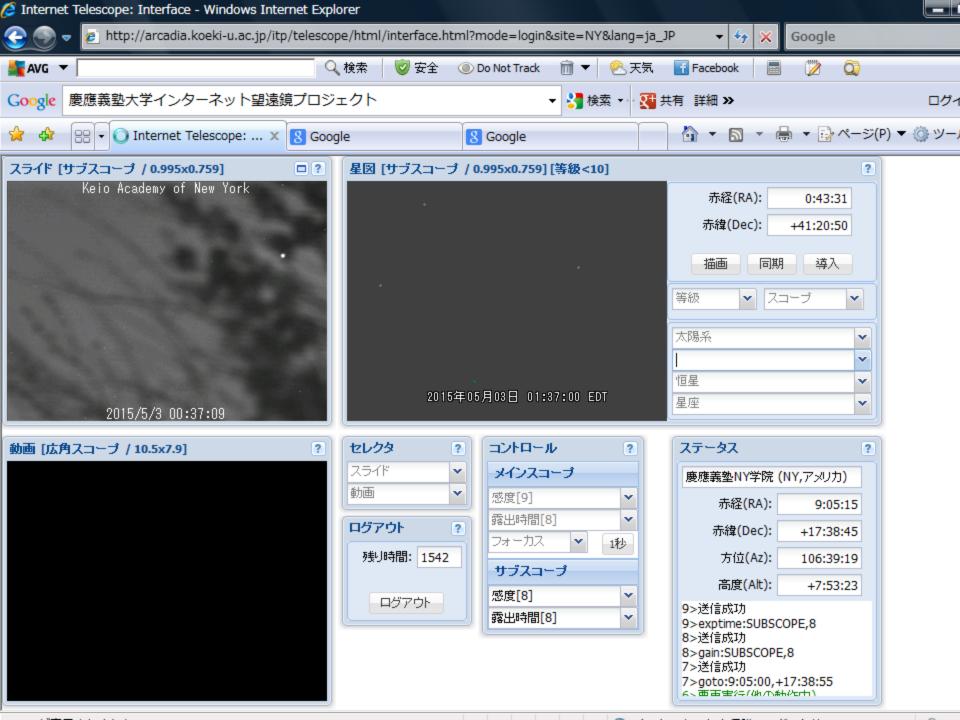




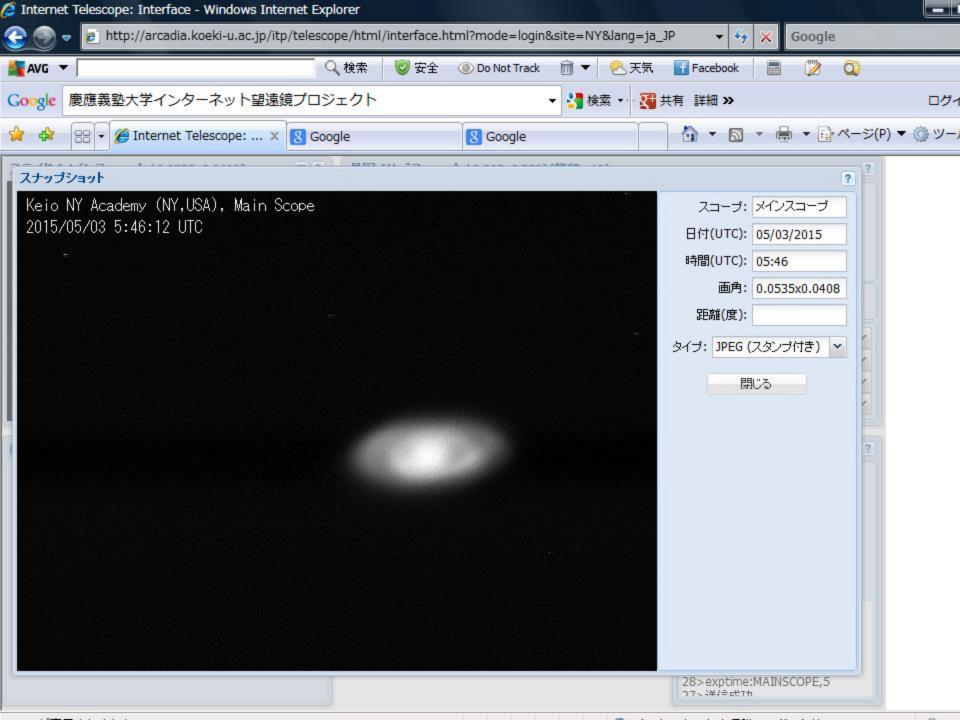






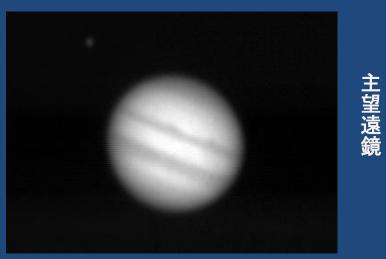






インターネット望遠鏡で撮った天体画像例

副望遠鏡



木星とガリレオ衛星



木星とガリレオ衛星



土星とタイタン



土星とタイタン(土星の衛星)

太陽系外天体:銀河-星雲



アンドロメダ銀河M31



M31 (49枚コンポジット)





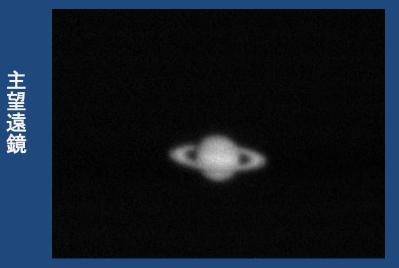
プレアデス星団(昴)



木星とガリレオ衛星



木星とガリレオ衛星



土星とタイタン

副望遠鏡



土星とタイタン(土星の衛星)

銀河と銀河団



NGC4565



M51(2100万光年)



M104ソンブレロ銀河 (4600万光年)



Virgo Galaxy

インターネット望遠鏡を利用した 天体観測のテーマ例

- 1)月面の観測
- 2)月の公転周期と公転軌道の離心率測定
- 3)彗星の光度測定
- 4)ガリレオ衛星の観測
- 5)太陽の活動測定
- 6)変光星の光度測定
- 7)超新星の光度測定
- 8)月までの距離測定

月の観測



サブ望遠鏡で撮った ミラノの満月



主望遠鏡で撮った月面(4枚張り合わせ)

張り合わせて全月面を作成 課題の一つ ニューヨーク2011年11月12日 UTC10:57:51 NY時間12日5:57:51(西の空)

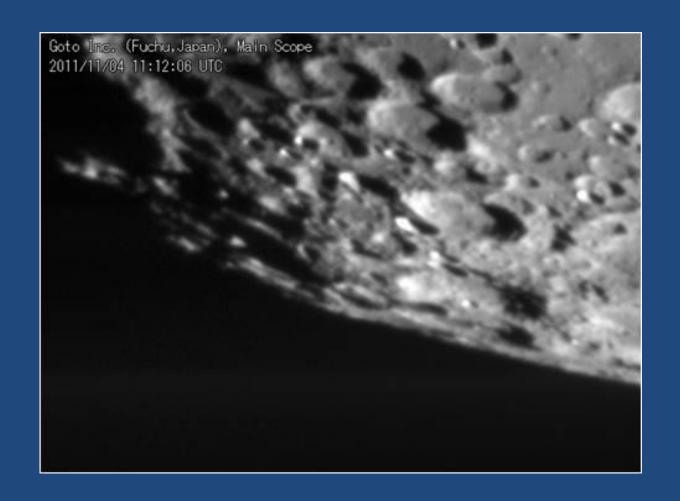




東京2011年11月12日 UTC10:56:58 日本時間12日19:56:58(東の空)

インターネット望遠鏡がネットワークを作ることを活かして撮った画像 1万キロメートルほど離れた地球の2点から同じ天体を同時に撮影

贅沢な月見



主望遠鏡で撮ったクレーターの画像 影の長さからクレーターの高さを測定

課題の一つ

















月の満ち欠け

月の見かけの大きさの変化





2012/ 12/ 28 2:29:36 UTC

2013/01/27 0:04:23 UTC

月の大きさの変化から、月の公転周期等を解析する方法は 1)インターネット望遠鏡で観測一現代天文学入門一(観測B) 2)物理教育学会誌(2019)Vol67 pp151~158 を参照

月の大きさの変化

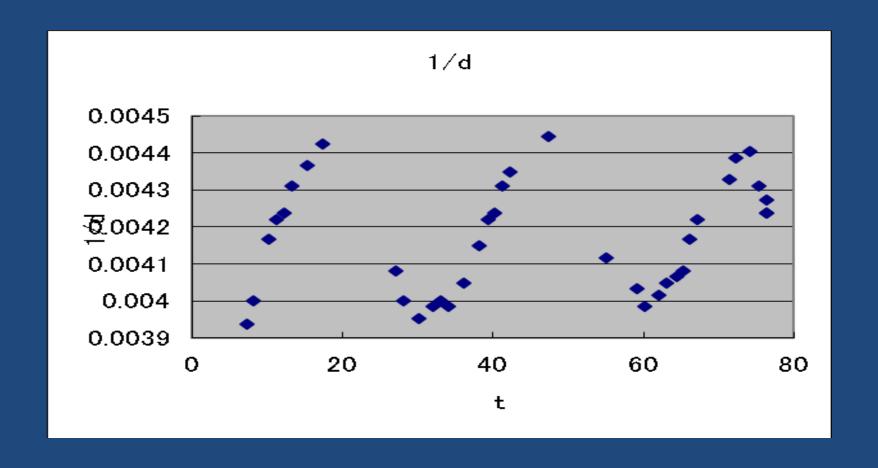


2012/12/28 2:29:36 UTC

月の大きさの変化

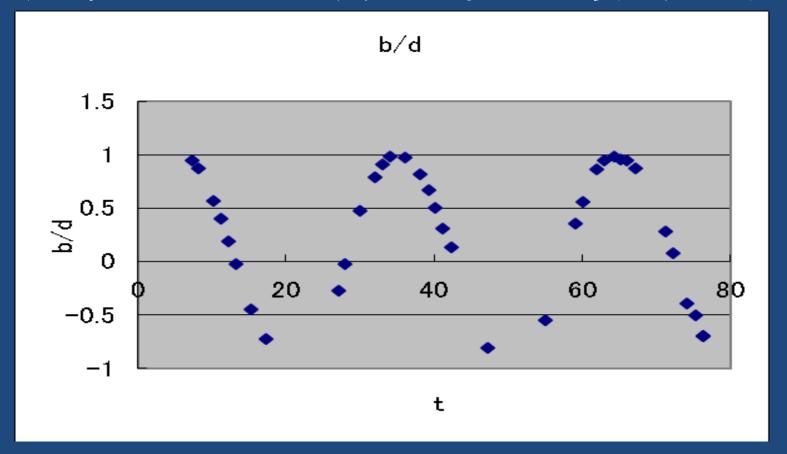


2013/01/27 0:04:23 UTC 1ヶ月前の満月よりも見かけの大きさが大きくなっている

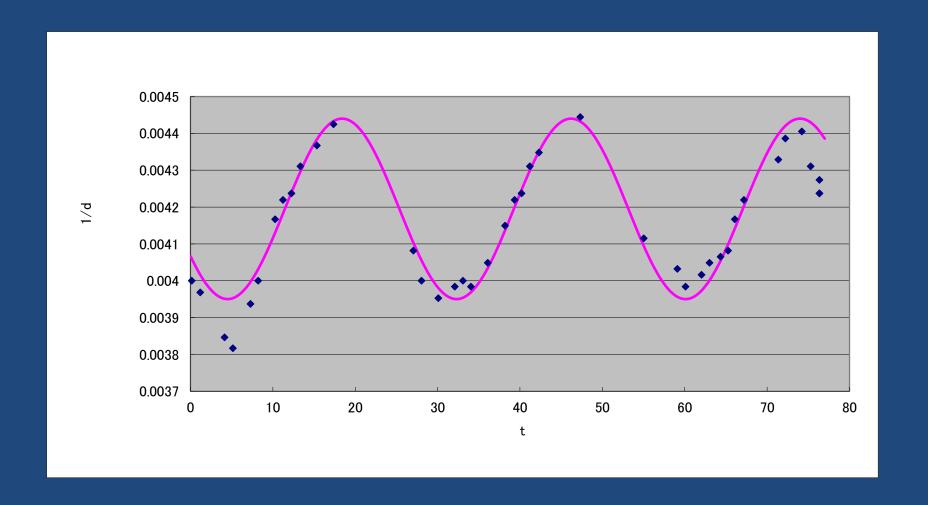


月の見た目の大きさの時間変化のデータ

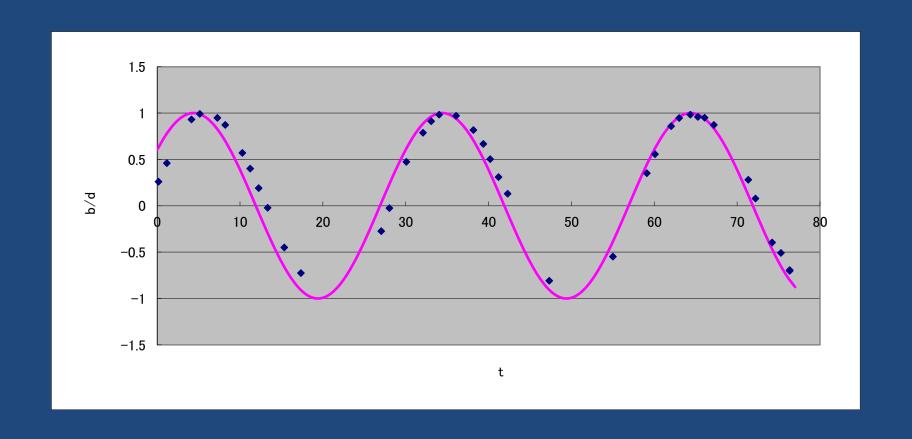
月の見かけの大きさが、観測日時によって変化する理由は



月面の全体に対する明るい部分の割合(輝面比)の時間変化のデータ このデータから朔望月が測定できる

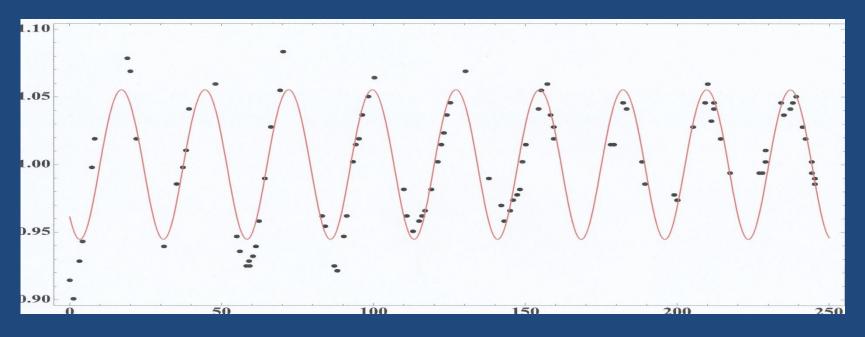


見た目の月面の大きさの時間変化に 関するデータと曲線



明るい部分の割合の時間変化の データと曲線

月の見かけの大きさの変化



月の公転周期と公転軌道の離心率が測定できる

公転周期 27.55日 ★ 新月から新月まで 29.53日 月の離心率 0.0549 ★ 新月から新月まで 29.53日

近地点までの距離 363.304 km 遠地点までの距離 405.495 km 差が出る理由は?地球の公転が原因

ニューヨーク2011年11月12日 UTC10:57:51 NY時間12日5:57:51(西の空)





東京2011年11月12日 UTC10:56:58 日本時間12日19:56:58(東の空)

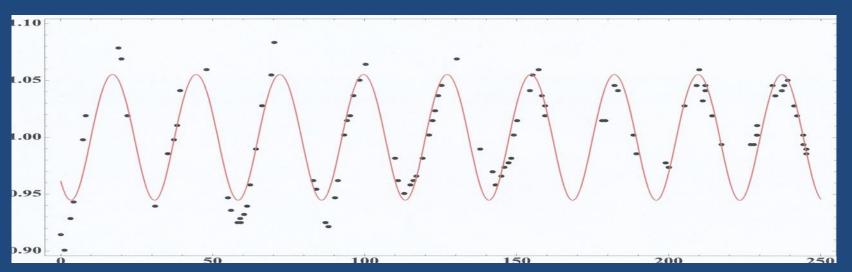
インターネット望遠鏡がネットワークを作る利点を活かして撮った画像 1万キロメートルほど離れた地球の2点から同じ天体を同時に撮影

贅沢な月見





2013/01/27 0:04:23 UTC



月の見かけの大きの継続観測

- 1)月の公転に関する3つの周期(恒星月・近点月・朔望月)
- 2)月の公転軌道の離心率
- 3)地球の公転軌道の離心率が求められる

月の観測から、月の運動だけでなく地球の運動に関する情報まで求められることは興味深い

参考文献

- 1)インターネット望遠鏡で観測!現代天文学入門(森北出版)
- 2)物理今日行〈学会(2019) Vol 67 pp151~159
- 3)力学がわかる (技術評論社)